

ホーコン・ファステ

2211121 星野綾音

ホーコン・ファステ

デザインとテクノロジーが交差する領域で活躍する研究者、デザイナー

スタジオ・アートと物理学、そして認知を持つロボットに関する研究に従事

カリフォルニア芸術大学の教授として教育にもかかわる

主な研究テーマは

ポストヒューマンの未来や**知覚を持つロボット**など

ポストヒューマンとは何か

超知能（superintelligence）や精神のアップロード、
ロボット生命などが含まれる
ポスト進化的なテクノロジー（post-evolutionary technologies）との
共生を目指す
ファステはこのような未来において、
人間と技術の相互作用が社会発展に寄与できるかを問う

ポスト人間中心デザインの考え方

デザインは人間のためだけでなく、

「ポストヒューマン」の視点も取り入れる必要がある。

2030年までに人間の知能に匹敵する処理能力のPCが登場すると予測。

テクノロジーには人間を監視・管理するリスクもあるが、可能性も大きい。

「テクノロジーは人間的で生き生きしている。そして命は美しい」

（ファステの言葉）

これからのデザインに求められること

急速な技術進化に対応し、社会・倫理・心理面の影響も考慮する必要がある。
安全で持続可能な未来のためのデザインを構想する力。
ファステは、「デザインは変化を予測し、変化を導く手段」と述べる。